竹鶏かわら版

2015年4月

［発行］
竹鶏ファーム
かわら版編集室
TEL：0224-25-2814
FAX：0224-25-2865

日本で一番、
ありがとうの〝わ〟が
生まれる養鶏場を目指して。
竹鶏ファーム TAKETORI FARM

春は、出会いと別れと卵の旬

知ってますか？卵の旬があること。

4月になり春真っ盛りの時期となりました。この時期は出会いや別れの多い季節、竹鶏ファームでは、今年は異動や入退社はありませんが、スタッフの家族にはたくさんの出会いと別れがあるようです。うちの子どもが保育園の入園式。また、この時期は「卵の旬」でもあります。

今年で55歳となる浩幸社長。ビフォーアフター。

聞き慣れない方も多いと思いますが、本来ニワトリは春から初夏にかけて卵を生んでいて、春の卵は母体の中でゆっくり時間をかけて成熟していたため栄養価が高いと言われています。現在は鶏も品種改良され毎日安定的に生むようになりましたので、あまり耳慣れなくなりました。竹鶏ファームでは、毎日美味しい健康な卵をお客様に届けるという使命がありますので、ずいぶん前に自然本来のはき方、在り方をきちんと伝える向き合うことも大切にしています。私たち人間が生かされている裏側で動物達に負担が掛かっているということ。このことを忘れずに今日もたまごを届けようと思います。ちなみに写真は今年で五十五歳となる社長の〇年前の写真です。旬な男です。出会いと別れて卵の旬のお話でした。

シャモ肉の取扱店募集

竹鶏一黒シャモの販売が始まり丸一年となります。おかげ様で飲食店様を中心に取扱い店が増えてきました。しかし、まだまだ宮城の鶏文化をつくっていく、根付かせていくには、もっともっと広めていくことが必要だと思っています。今月から沖縄方面への出荷も始まりますので、興味のある方、是非ご連絡をお待ちしております。

竹鶏 一黒シャモ
宮城白石蔵王の手飼い地鶏

しあわせは、たまご色

広げよう、ありがとうの〝わ〟 Vol,09

毎年恒例！宅配便のお客様向け
竹鶏ファーム 感謝のプレゼント企画

～4月から随時お届けスタート！～

宅配便で定期的にご購入いただいているお客様に毎年お送りしているプレゼント。今年もはじまります。毎年内容は様々で心を込めてつめてお届けしています。長いお客様では数十年も続けていただいているお客様もおり、本当にありがたい限りです。これからも変わらず美味しいたまごをお届けできるよう頑張りますので、これからも宜しくお願いします。

この春は、二人の孫が保育園へ入って、とっても成長していく姿を楽しみにしていきたいですね。本当に成長が早いのにびっくりです。1週間は私の何年分かしらっていう感じです。

私も負けずに何かをしなければと思うけど、見たらないで孫を見てニヤニヤしている私です～。

久美子 お母さん

竹鶏時間

『同じ労力で10倍の成果を出す方法』これからのリーダーに必要なこと、役立つ考えを教えていきたいと思います。今より10倍稼ごうと思ったら今より10倍も働かないといけない？ある方法を身につければ〝今と同じか、それ以下の労力で10倍の成果を出すことができる〟今の仕事を10倍楽にすれば！！！！これは仕事だけじゃなく人間関係も人生もすべてに通じる大切なこと。㊙つづく

志村浩幸 社長

最近になってやたらと白石市内を走っているのは、私です。

村上です。(ダイエット継続中)暖かくなってきましたね。過ごしやすいと思ったら大間違いです！花粉症の私には、地獄のような季節到来です。今年はさらに風邪を引いてしまうというアクシデントも重なり、不吉な予感がする今日この頃です。

P.S. 今のマイブームは「DASH」です。

タマゴとトリの相談員 村上君

先月のかわら版、何を書いたのかわからなくなっているくらい変化が激しい日々を送っております。3月、雪降りましたね、よし！と思えました。最近、娘が単語(みみとかあしとかはな)をしゃべるようになってきました。いろいろ絵本で教えようと思いまして、図書館で本を借りてきました。今、日本語と英語の2通り表記してあるものが、あってグローバル化が進んでいるなーと感じました。例えば、きりん→ジラフ、かば→ヒポポタマスってこうらしいです。(笑)子育て、日々勉強です。

志村竜海 専務